

ゆめみ
山田 夢実さん

1996年 東京都江戸川区生まれ
高校卒業後に、イベント会社に
就職し、イベントの運営・企画
制作に携わる。また、洋服販売
店での販売経験を持つ。平成30
年5月から川俣町「地域おこし
協力隊」として活動している。

ご存知ですか？

「地域おこし協力隊」のこと

「地域おこし協力隊」とは、人口減少や高齢化が進み人材不足にある地方において、地方での生活を望む都市部の人たちを迎え入れる制度です。地域の課題解決のために各分野での活動に携わってもらうことにより、地域の活性化とまちおこしの一員となってもらいます。「地域おこし協力隊」の制度は、総務省の政策として平成21年度に創設されました。

この仕組みは人口対策や地域力の維持・向上が図られる側面もあり、川俣町では平成30年5月からこの制度を活用し、第1号となる隊員を迎え入れました。隊員の活動は、1年から3年の期限付きで、最大3年間活動することができます。3年が経過した後は、川俣町で新たな働き口を探す、都市部に戻る、起業するなど、進む道はさまざまです。

全国の地方公共団体では「地域おこし協力隊」が約5千人おり、その約4割は女性、また、隊員の7割が20歳代と30歳代、任期終了後に約6割の方が同じ地域に定住しています。（平成29年度データ）

都市部を離れ、望んでいた「地方」での生活を送ることになった隊員には、外から来たことでわかる地域の良さなど、新たな視点も含めた活躍が期待されます。

夢と希望のふるさとづくり

地域おこし協力隊 活動内容

基本活動

- ・地域づくりコーディネート活動

選択活動（複数選択可）

- ①新規産業の情報発信
- ②伝統文化の継承（今回選択した活動）
- ③震災復興支援
- ④道の駅活性化
- ⑤6次化商品の開発・宣伝
- ⑥その他

（隊員が提案する地域活性化に関する活動）



市町村が独自で決める 特色ある「隊員の活動内容」

地域おこし協力隊の「隊員の活動内容」は、市町村が独自で決めています。農林水産業、地域おこしの支援、空家対策、教育振興、有害鳥獣被害対策等が福島県での主な活動内容になっています。

川俣町では、地域おこし協力隊を3名募集しており、活動内容は、「基本活動」と「選択活動」の2つに分かれています。

「基本活動」である地域づくりコーディネート活動では、大学生のインターン活動（産業体験）やU・Iターナーの受け入れなど、地域との交流事業の企画・調整に関する活動を行います。

「選択活動」は大きく5つに分かれています。1つ目は、「新規産業の情報発信」で、新たな作物（施設園芸）の技術習得と、将来に向けた普及活動を行います。2つ目は、「伝統文化の継承」で、伝統の織物や草木染めの技術を習得し、教室の指導員として活動します。3つ目は、「震災復興支援」で山木屋地区を中心とした営農再開支援（農作業）や住民生活のサポート活動を行います。4つ目は、「道の駅の活性化」で、地域復興イベントの企画・運営に関する活動を行います。最後の5つ目は、「6次化商品の開発・宣伝」で、新たな川俣町の特産品の開発や魅力のPR活動を行います。